

暫定議題
第 21 回 科学委員会に付属する拡大科学委員会
台湾、高雄
2016 年 9 月 5－10 日

1. 開会

- 1.1. 参加者の紹介
- 1.2. 会議運営上の説明

2. ラポルツアアの任命

3. 議題及び文書リストの採択

4. SBT 漁業のレビュー

- 4.1. 国別報告書の発表
- 4.2. 事務局による漁獲量のレビュー

5. OMMP 会合からの報告

6. CPUE モデリング部会からの報告

7. すべての漁獲死亡要因の計上

7.1. 非メンバー漁獲量の推定値の改善

拡大委員会 (EC) は、ESC に対し、非メンバーの漁獲量にかかる推定値をさらに改善するとともに、EC に対してこの情報を透明な形で報告するよう要請した。特に、SBT を漁獲したと考えられる船団に関する情報と合わせて、非メンバー漁獲量の推定に用いた手法が明確に説明されなければならない。

7.2. 非メンバー漁獲量の計上における直接的アプローチと MP アプローチとの間の相対的なメリットに関する助言

「直接的アプローチ」とは、非メンバー漁獲量を推定した上で、全世界の TAC をメンバー及び CNM に配分する前に、非メンバー漁獲量を考慮するためのアローワンスとして TAC から差し引いておくものである。「MP アプローチ」とは、非メンバーの漁獲量にかかる妥当なシナリオをカバーする別のシナリオにより MP を再調整し、MP を通じて非メンバー漁獲量の不確実性を考慮した TAC を勧告するものである。

8. 科学調査計画及びその他休会期間中の科学活動の結果のレビュー

9. 漁業指標の評価

10. SBT の資源状況

- 10.1. メタルール及び例外的状況に関する評価
- 10.2. SBT 資源状況の概要

11. 2018-2020 年の TAC を勧告するための MP の実施

12. SBT 管理助言

13. 新たなデータソース及び 2017 年に使用するオペレーティング・モデルの評価

14. 2017 年における新 MP 開発にかかる要件

15. SRP のアップデート

調査及び MP に関する拡大委員会による最近の決定を踏まえ、必要に応じて SRP をアップデートする。

16. 2017 年におけるデータ交換要件

17. 調査死亡枠

18. 2017 年（及びそれ以降？）における作業計画、スケジュール及び研究予算

18.1. 2017 年の研究活動案の概要、スケジュール及び見込まれる予算と、作業計画及び予算に対する科学調査計画の影響

18.2. 次回会合の開催時期、期間及び構成

19. その他の事項

19.1. 生態系ベースの漁業管理の実施に関するまぐろ類 RFMO 合同会合への CCSBT からの参加者の検討

20. 会合報告書の採択

21. 閉会